

木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業（農林水産省連携事業）



【令和2年度予算（案） 600百万円（1,200百万円）】

新たな木質部材「CLT」の断熱性能を検証し、脱炭素建築物の普及促進を図ります。

1. 事業目的

- ① 高い省エネ・省CO2につながる脱炭素建築物等の普及を促進するため、CLT（Cross Laminated Timber）等を用いたモデル建築物を建設し、その断熱性能をはじめとする省エネ・省CO2効果について定量的に検証を行う。
- ② 脱炭素建築物としてのCLT建築物の更なる普及を通じて、業務その他部門のエネルギー起源CO2を大幅削減する。

2. 事業内容

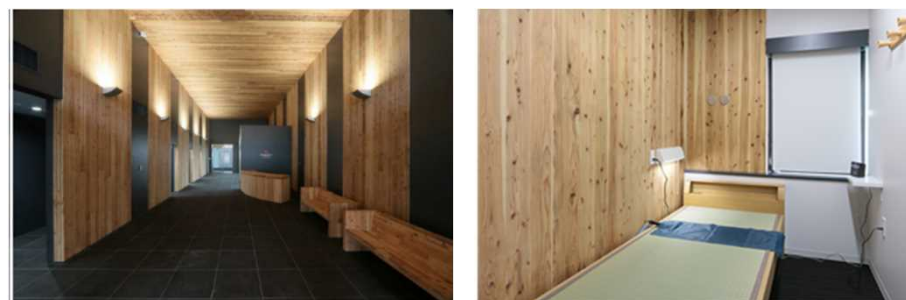
1. CLT建築物の断熱性能効果検証事業＜委託＞
CLT建築物の断熱性や省CO2性能について既往の事例を対象とした調査や、既存建築物を対象とした定量評価等を行い、効果的なCLT等の活用方法の検討を行うことで、木材を用いた脱炭素建築物の普及促進に資する知見を得る。
2. 木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業＜補助＞
CLT等の部材を用いた建築物の省エネ・省CO2効果を定量的に評価するため、CLT等を用いた建築物等の建設に必要な設計費、工事費、設備費、省CO2効果等の定量的評価に係る計測費の一部を補助する。
 - ・補助対象経費：設計費、工事費、設備費、実証に係る計測費等
 - ・補助率：2/3（上限額：5億円） ※継続事業のみ実施

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業／間接補助事業
- 委託先：民間事業者・団体 ■ 補助対象：民間企業／地方公共団体等
- 実施期間 平成29年度～令和2年度

4. 活用事例

補助事例：九州旅客鉄道 熊本支社（熊本県熊本市）



- CLT（Cross Laminated Timber）とは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネル。欧米を中心に住宅や商業施設などの壁や床の材料として普及。
- 同面積のコンクリートと比較して軽い、施工が早いといった特徴を有する。

お問合せ先： 環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室

電話：03-5521-8355